

令和5年第3回定例会一般質問通告事項

	<p>岡村 隆 議員 (公 明 党)</p>	<p>質問方式：一問一答方式</p>
<p>6 月 22 日</p>	<p>1 物価高騰対策について 3月28日に閣議決定した物価高騰の追加策には、公明党の強い要請で臨時交付金が1.2兆円積み増しされた。この追加の臨時交付金を活用し、物価高騰から市民生活を守るための支援策をしっかりと講じて頂くよう、5月17日、公明党市議団は平谷市長に、緊急要望書を提出した。私たちのもとにはプロパンガス料金の高騰対策を求める厳しいお声がたくさん寄せられている。今回の緊急要望書でもお願いした「LPガス料金の負担軽減策」の具体的内容について伺う</p> <p>2 自転車の安全走行について 4年前の6月議会にて尾道市として自転車保険加入の「義務化」を含む「自転車条例」の制定を提言した。残念ながら条例制定には至らなかったが、時を経て、昨年10月に広島県においていわゆる「自転車条例」が制定された。また今回道路交通法の改正が行われ、本年4月からヘルメットの着用が努力義務化されたが</p> <p>(1) ヘルメット着用の努力義務化 ア ヘルメット着用の努力義務化を受けて、着用の促進に向けてどのような施策が実施されているか イ ヘルメットの購入に当たり、前述の市長に提出した「緊急要望書」にも、「サイクリストで賑わう街」尾道市として助成制度の導入を要望したが、いかがか</p> <p>(2) 損害保険加入の「義務化」 努力義務より一步深い義務が課されているが、 ア 今回の「義務化」を受け、損害保険加入促進のために市としてどのような施策が実施されているか イ 努力義務であるヘルメット購入の助成以上に、「義務化」された損害保険加入にあたっての助成の要請は強いが、助成制度を実施してはいかがか</p>	

<p>6 月 22 日</p>	<p>3 軽救急車の導入について 本市には、高規格救急車が進入できない場所が多く、市民の皆さまからも不安の声が多く寄せられている。小型の軽救急車であれば、通常の救急車では進入できない狭い道でも通行でき、小回りが利くため、より迅速に傷病者を搬送することが可能となる。 通常の救急車と同時に出動。通常の救急車は現場近くで待機し、軽救急車で搬送されてきた傷病者を乗せ換えて病院まで運ぶ。 導入についてのご所見を伺う</p> <p>4 投票における支援について この度の統一地方選挙、市長選では 56.34%で前回より 1.36 ポイント下がり戦後で最低となった。選挙の投票率が下がり続ける中、投票したい人が置き去りにされることなく、確実に投票できる環境を整えることが非常に重要となる。 四国中央市では、「代筆してほしい」「候補者名を読んでほしい」「候補者名を書いた紙や名刺を見て書いてほしい」などの項目を記載したカードを準備し、スムーズに投票できている。このように誰もが躊躇することなく気軽に投票できる支援カードを導入してはいかがか</p> <p>5 多様な性のあり方への理解について 性的少数者の方々への理解増進法案が国会で審議された。また、同性婚を認めていない現在の法制度は婚姻の自由を保障した憲法に違反するとした違憲判決や違憲状態とする判決が相次いでいる。一方全国の自治体に目を向けると、性的少数者カップルの関係を公的に認める「パートナーシップ制度」を導入する自治体が増えていて、県内でも 8つの自治体が既に導入に至っている。これまで 2回にわたり本市におけるパートナーシップ制度の導入について要望してきたが、前回の質問の際には「他市の情報を収集し、制度のサービスの内容について、庁内横断的に担当課と十分に調整や連携を図り整理してまいりたい。」と具体的に踏み込んだ回答があった (1) 以来一年が経過し、本市におけるこの制度のサービス内容について、どのように整理されたか</p>
-----------------------------	---

6 月 22 日	(2) 理解増進法の審議を通じ国民の関心も高まっている。制度の導入が市民の皆さまのより深い理解の促進につながると思うが、早急に導入してはいかがか
-------------------	--